

事業内容 放課後等デイサービス自己評価結果

児童デイサービス南風
実施日2024年3月中旬
公表日2024年4月30日

	チェック項目	はい	どちらか いいえ	いいえ	未回答	改善目標、実施している点など	
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	3					
	② 職員の配置数は適切であるか		1	2			
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		2	1			
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加しているか		2	1			
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか		2	1			
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	2			1		
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか				3		
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか		2	1			
	⑨ 支援の質の向上を図るため、研修や学習の機会が確保されているか		2	1			
	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を体系的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	1	1	1			
	⑪ 子どもの発達行動の状況を踏まえて、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		2	1			
	⑫ 活動プログラムの立案をチームで行っているか			3			
適切な支援の提供	⑬ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか		2	1			
	⑭ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		2	1			
	⑮ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか		2	1			
	⑯ 放課後等デイサービス計画に基づき、支援を実施しているか		2	1			
	⑰ 放課後等デイサービス計画に記載した目標が達成できているか		2	1			
	⑱ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	2	1				
	⑲ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		2	1			
	⑳ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか		3				
	㉑ 定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しを判断しているか		1	2			
	㉒ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか		1	2			
	関係機関や保護者との連携	㉓ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	1	1	1		
		㉔ 子どもの情報共有(生活計画、行事予定等の交換、子どもの発達状況の把握等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	2	1			
㉕ 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			1	1	1		
㉖ 学校に利用している保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有相互理解を図めているか		1	1	1			
㉗ 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害児福祉サービス事業所へ移行する場合、そのまでの支援内容等の情報を提供しているか		1	1	1			
㉘ 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			2	1			
㉙ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか				3			
㉚ (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか				3			
㉛ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか			3				
㉜ 保護者の対応方針向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか				3			
保護者への説明責任等	㉝ 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	1	1	1			
	㉞ 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか		3				
	㉟ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		1	2			
	㊱ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか		3				
	㊲ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		2	1			
	㊳ 個人情報に十分注意しているか		3				
	㊴ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか		3				
	㊵ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		2	1			
非常時等の対応	㊶ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	1	1	1			
	㊷ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		2	1			
	㊸ 急病を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	1	1	1			
	㊹ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得ながら、放課後等デイサービス計画に記載しているか		1	1	1		
	㊺ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	1		2			
	㊻ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	1		2			

*配布 5 回収 3 未回答2

後半からコロナも緩和傾向になってきたので、色々な研修や外出先への企画検討会等も実施し、職員のスキルのブラッシュアップを積極的に検討していく。職員間で会議や検討会を開催し無理なく実施できるように計画していく。

各種マニュアルに関して、設置場所が曖昧な職員もいるため、再度内容含めて説明し、職員全員が認識できるよう改善していく。

日々の支援の中では、職員と保護者のやりとりで児童の様子や情報共有は出来ているが、保護者会や、面談を設ける事はあまりできていないので、徐々に児童の情報共有、支援につなげるように改善する。抵抗力が弱い利用者の方もいるため、中々コロナへの警戒心は解けないが、今後は電話聞き取りや面談シート等を作成し、対面談以外の方法を考えていき、どの職員も対応可能な状態にしておく。

日々の支援の目的をしっかりとその日の職員に周知していき、共有していく。出勤時間・勤務時間が違う職員もおり、一日終了時の打ち合わせは中々実施が難しい為、翌日の開始時の申し送りにて、前日の支援内容の反省、振り返りを含めて確認していく予定です。

出勤日数や、児童との関わり方の違いから業務内容に差が出てきている。また、申し送りや共有事項の確認を行っても、職員各々のスキルの違いにより解釈にかなりの差が出る。ここをどう埋めて行くか、どうやって協力全員同じレベルに持って行くかが今後の課題となる。モチベーションの違いから業務取り組みへのばらつきにもつながることから、職員間のコミュニケーションも大切にしていきたい。

設問に対して未回答があった。必ず共有事項・伝達事項の確認や申し送りを非常勤の職員にも行い、全員に周知させていくようにする。